

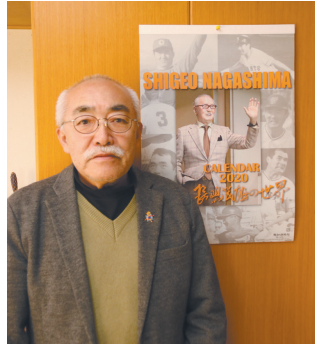
夢と笑顔と感謝と

㈲板垣商店代表取締役
板垣 喜代志氏

「板垣商店ライオンズ」一野球が好きな方なら一度ならずとも耳にしたことのあるチーム名でしょう。私が25歳のときに親族一同が結成し45年になります。当時は野球が最大の人気スポーツで、とくに一族そろって長嶋の大ファン。父喜一が「90番」の背番号で監督、私は「3番」で三塁を守り、300チーム以上参加した山形新聞主催の山形実業人（モーニング）野球大会に参加、その後、山本学園をはじめ山形東高、山形南高、山形中央高の野球部OBや友人たちが加入し優勝8度、県大会で2度の頂点に立っています。

6年前に亡くなった父について紹介します。山形市三日町の農家に生まれ、若いときに父親を亡くし、7人の弟妹を育てるため懸命に働きました。稲作やさくらんぼ、ホップを生産するとともに荒物雑貨商を始め、さらに石油の小売を手掛けました。200㍓入りドラム缶1本を仕入れて、近所の家庭の煮炊きコンロ用に一升瓶に分けし販売するのです。私はよくこぼして父に叱られました。石炭・豆炭・練炭からプロパンガスを扱う燃料商へとなったのです。その間、公民館長、小学校のPTA会長、山形市プロパンガス保安センター理事長を務めました。

私は農業を継ぐため県立上山農業高校（現・上山明新館高校）を卒業し田畑で汗を流す一方、軽トラックにプロパンガスを付けて得意先を回りました。今では懐かしい思い出となりましたが、夜は小学校時代からの友人の井上正太郎君（仏壇店経営）とネオン街に出没しました。彼は下戸で私は底無し。それでも話が弾み、いつも朝



方彼の車で家に送ってもらいました。ひと眠りして仕事です。毎年2人で旅行に行ったのですが…昨年8月に彼は亡くなりました。

「頼まれれば「ハイ」と二つ返事で引き受ける」というのは父譲りなのでしょうか。小中学校時代は人前に出るのが大の苦手でしたが、いつしか青年会議所、山形中央ロータリークラブ会長、山形市プロパンガス保安センター理事長、山形蔵王倫理法人会会長を務めさせていただいております。

また、山形市及び山形県PTA連合会会長をはじめ青少年補導員、保護司、山形リトルリーグ、女子ソフトボール会長として、子どもたちが元気に、健やかに、夢を持って育ってほしいと願いを込めてかかわっています。昔は原っぱや道路脇で親子がキャッチボールしている姿を見ることができましたが…。スポーツを通して親子の心のキャッチボールのお手伝いできればと思っています。

昨年、推薦を得て会議所の議員となりました。女房には断る勇気も必要とされましたが、いろいろな方と知り合い、教養を受けているのが私の財産です。今年一年、モットーとしている「笑顔と感謝」を心掛けるとともに、昨年ユニフォームを新調したにもかかわらず、実業人野球で4回戦敗退した「板垣商店ライオンズ」のリベンジを果たします。